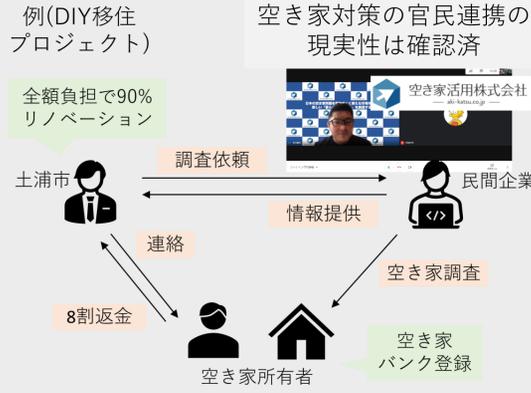
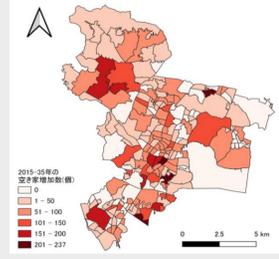




#1 空き家活用

空き家数が増加していく
(2010,2015年の人口による推定)



東京在住者約半数の地方移住への関心
+
コロナ禍により加速したDIY人気
+
地元企業のジョイフル本田との連携

ワーケーションへの高い関心
+
約6割がのどかな田舎町、3泊以下を希望

居住誘導区域内
(中心市街地や駅前)

DIY移住プロジェクト

居住誘導区域外
(新治など)

ワーケーション利用



土浦はまだまだ活用できる「資産」をたくさん持っている



#3 DASHボタン



のりあいタクシー土浦
(既存のデマンドタクシー)
使いにくい 分かりにくい
利用者の関心がない

土浦版タクシーDASHボタン

新治地区の高齢者全員に配布

ボタンワンタッチで予約センターに電話が繋がる端末

利用者に直接届けることで関心を持ってもらう

分かりやすい！使いやすい！

関東鉄道様ヒアリング



新しい技術も検討しながら採り入れていきたい

全体構想

全地域

土浦の魅力を発掘し活かす



～意地を見せ、まちを維持する～ 健康な地区

土浦の「意地」をみせる！

資産の活用

まちを「維持」する

安心 便利 にぎわい



#4 モール505



土浦駅からの良好なアクセス性
ロケ地としても人気の昭和チックな景観

モール505が持つ立地や景観などの特徴を活かしにぎわいのある空間へ

店舗を用途ごとにエリア分け



効果
エリアごとでにぎわい
利用者が分かりやすい
店舗集積の相乗効果

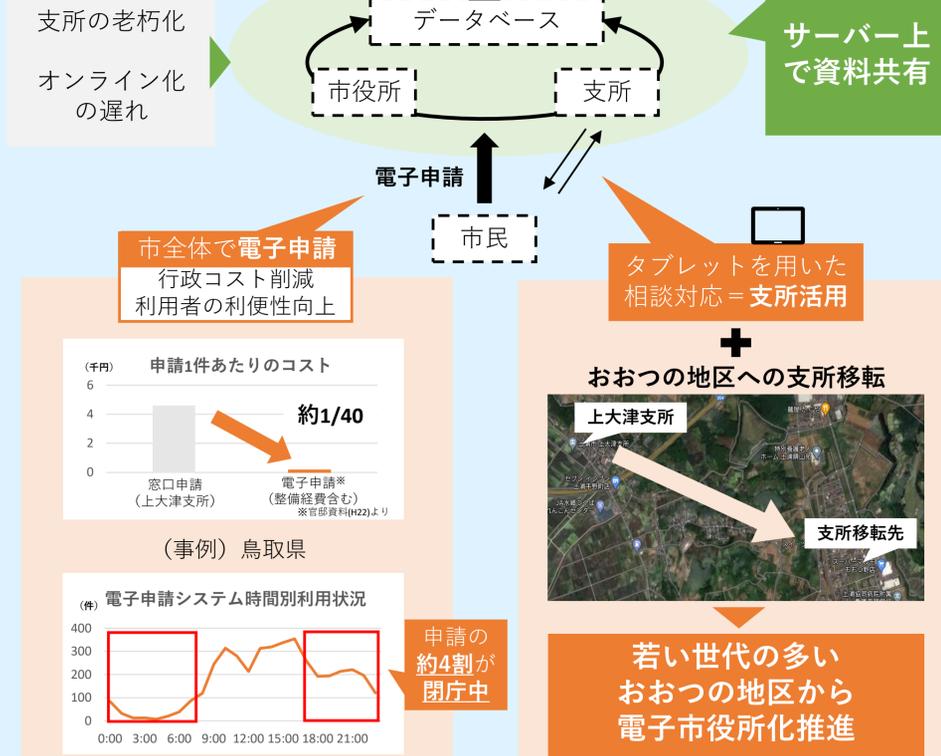
- 新規参入への支援
- 空き店舗でのお試し出店
- テナント料6か月間無料
- 最大6か月のお試し営業
- 開業費など最大50万円まで支援
- 空き店舗への正式入店

動線の整備

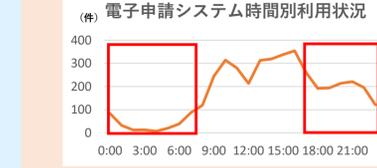
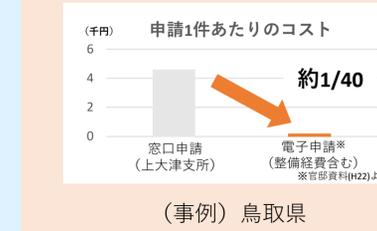
駅からの動線を明るく快適な歩行者空間へ提灯を設置し昭和チックで魅力的な空間へテラス席で店外でも賑わいを創出



#2 電子市役所



支所の老朽化
オンライン化の遅れ



申請の約4割が閉庁中

タブレットを用いた相談対応 = 支所活用



若い世代の多いおおつの地区から電子市役所化推進

2020年度 都市計画マスタープラン実習 4班

班長：田中大輔 副班長：阿部くらん 岸川知樹 谷本明梨 飛田大也
TA：徳谷 祐輝



#5 NICEな東口



地域優良賃貸住宅制度(PFI)を活用

